



# 門真四中だより

## 「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和5(2023)年2月9日

第68号

編集・発行：校長 上甲 尚

## 明日(あさって)は私学入試! 頑張れ、3年生!

~焦らず、落ち着いて自分のベストを尽くそう!~



いよいよ明日(10日)、あさって(11日:面接選考がある人のみ)は私学(私立高校・高等専修学校)の入試です。3年生88名(119名中)が受験します(すでに受験が終わって、進路が決まった人も数名います。おめでとう!)。かなり緊張すると思いますが、ここまで来たら焦っても仕方ありません。慌てずに落ち着いて試験に臨みましょう。

今日は勉強は軽めに、復習・確認する程度にしましょう。そして、受験票や筆記用具など忘れ物のないようにきちんと確認しながら準備し、ゆっくりお風呂に入って体を温めて、早めに休むようにしましょう。夜更かしは厳禁ですよ。寝る直前はゲームやスマホ(SNSなど)の使用も控えましょう。目が冴えて眠りにくくなりますよ。コロナ、インフルエンザのこともあるのでくれぐれも体調管理と感染予防に注意してください。

入試問題は難しいので、解けない問題があっても当然です。決して焦らずに、自分が解けない問題はきっと他の人たちも解けないんだと開き直って、落ち着いてできそうな問題からとりかかっていきましょう。

面接がある人は、面接練習を思い出して、ハキハキと質問に答えることを心がけましょう。練習後に先生方に指摘されたことを思い出してください。大丈夫です!

受験は、誰もがが不安な気持ちになるものです。私もかつてはそうでした。他の中学校の生徒が賢そうに見えたものです(苦笑)。プラス思考で、気持ちを落ち着けて、自分を信じて試験(面接)に臨んでください。

**\*忘れものがないように必ずチェックを!**

**\*問題はまず全体にザッと目を通し、できそうな問題から解いていこう。大きく深呼吸をしよう!**

**絶対に最後まであきらめない!**

**\*解けない問題にこだわって時間をかけすぎないようにしよう。時間配分を考えて!あとの方に解ける問題があるかもしれませんよ。**

**\*服装、頭髪等、きっちり整えていこう。家を一步出たら緊張感を持って行動を!**

**\*時間に余裕をもって行動しよう。ギリギリになると余裕がなくなり、焦ってしまいますよ。**

**「精神一到何事か成らざらん」**

**頑張れ、3年生! 応援していますよ!**

## 母と語る

夜、母と話をしていました。母は静かな声で話しました。なんの話かというところ、入試のことなのです。

母は第一志望校に落ちて、

第二志望の高校へ行ったそうです。

合格発表があった日、

一步も家から出られなくて泣いていたそうです。

だから、世間話などであの子は入ったとか、

この子は落ちたとか、そんな話はいいいしません。

今になってみると、あのときのこと、

物の考え方にひどく役に立ったと言っていました。

心のやさしさの大切さもよくわかったそうです。

いろんな人の気持ちがあるんな人の立場が、

少しでもわかるようになったのは、

その時の体験があったと淡々と話しました。

母は受験では失敗しました。

でも、やさしさに磨きがかかったのです。

不合格を冷たい目で見ない母を

むしろ尊敬します。

その時は悲しかったにちがいありません。

人の目を気にしたかもしれません。

でも今では、静かな声で話します。

年月がそうさせたのでしょうか。

人間の気持ちは変わるのでしょうか。

今ではそれが、

心の強さ、やさしさになっているのです。

頭のいい、まるで失敗を知らない、

カッコいい母でなくてもいいのです。

やさしさをたたえた母が大好きです。

夜、母との話は沢山のことを考えさせてくれました。

話の中身から、語っている母そのものから。

今夜、

母が一層好きになりました。

母を前より尊敬する気になりました。

母にはいろんな体験があるのです。

三月に入って、卒業式がすむと、

ばくの志望校の入試があります。

今夜母から聞いた話を胸の中にして受けます。

人は

長い長い人生を歩いていきます。

その間に、いろんなことがあるでしょう。

思いがけないこともあるでしょう。

目の前に迫ってきた入試

これだつて、沢山の出来事の中の一つです。

母みたいに、心の栄養にしていきたいものです。



毎年、入試直前に紹介している詩です。私(上甲)が20代の頃に読んだ「思春期という節目」(ハツ塚実著:1989年刊)という本で出会った詩で、広島県の中学3年生が書いたものです。3年生の皆さんに贈ります。